

様式第 4 号

| | |
|--|--|
| 課題名 | 2 型糖尿病患者におけるセマグルチド導入症例の検討 |
| 承認番号 | 2021-31 番 |
| 研究機関名 | 横浜市立みなと赤十字病院 |
| 研究責任者 | 所属 内分泌内科 氏名 長瀬恵美 |
| 研究期間 | (西暦) 2022 年 2 月 ~ (西暦) 2022 年 3 月 |
| 研究の意義・目的 | 2020 年 6 月より新しい GLP1 製剤であるセマグルチド (オゼンピック®) が発売されました。GLP1 製剤は食事による刺激によってインスリン分泌を増加させ血糖を下げる働きを持っています。またその中でもセマグルチドには体重減少効果が報告されています。 本研究では、2 型糖尿病患者さんを対象に当院におけるセマグルチド導入による糖尿病の治療効果や有害事象について解析します。 |
| 研究の方法 (対象期間含む) | 2020 年 6 月~2022 年 3 月の間に、当院外来および入院中にセマグルチド注射製剤を使用開始した患者さんの年齢、性別、身長、糖尿病罹病期間、セマグルチド開始前および開始後 6 か月後までの体重、セマグルチド開始前および開始後 6 か月後までの HbA1c、セマグルチド開始前の糖尿病薬のデータを収集し、セマグルチド開始前後の体重、HbA1c の変化を統計的に解析します。また、年齢、性別、糖尿病罹病期間、開始前 HbA1c、BMI (体格指数)、糖尿病薬で層別化を行い HbA1c、BMI の変化を解析します。またセマグルチドの有害事象についても検討します。 |
| 試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む) | セマグルチド導入による糖尿病治療効果や有害事象を解析する目的で利用します。上記データを匿名化し、データ解析します。個人が特定されるデータは使用しません。 |
| 利用又は提供する 試料・情報の項目 | 年齢、性別、身長・体重・糖尿病罹病期間、使用薬、HbA1c、LDL-C、HDL-C、TG |
| 試料・情報を 利用する者の範囲 | 横浜市立みなと赤十字病院 内分泌内科 長瀬恵美及び同医員 |
| 試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先) | 横浜市立みなと赤十字病院 内分泌内科 長瀬恵美 |
| 問い合わせ先 | 当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 内分泌内科 氏名 長瀬恵美 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101 |